

14  
47

南支那及南洋調査 第二百二十九輯

比律賓の農業教育

臺灣總督官房調査課



始





14.25-478



凡 例

本書は臺灣總督府臺北師範學校教諭井上徳彌氏が比律賓農業教育に就いて提出した復命書を上梓したもので、曩に當課で發刊した南支那及南洋調査第百十三輯「第一回海外學事視察團復命書」と相俟つて、比律賓教育の現況を詳にせんとする者の參考に供せんとするものである。本書は執務の便宜上印刷を以て筆寫に代へたるに止まり敢て公刊するものではな。

昭和二年一月

臺灣總督官房調査課



の  
保  
寄  
贈  
本



# 比律賓の農業教育

## 目次

第一 農業教育の必要とその教育施設状況	一
一 農業教育の必要	一
二 農業教育施設状況	二
(1) 小學校	二
(2) 農業學校	二九
(3) 農科大學	三七
第二 視察學校	三九
一 小學校	三九
(1) カランバ小學校	三九
(2) ダバオ小學校	四二
二 中等學校	四三
(1) トリニダッド農業學校	四三

目次



目次

(2) サンボアンガ師範學校……………四五

三 農科大學……………四六

第三 比律賓農業教育の概括……………五〇

附録

一 比律賓に於ける學校農業の生産統計……………五九

(學年度 一九二四年—一九二五年)

二 主なる參考書……………六二

# 比律賓の農業教育

## 第一 農業教育の必要とその教育施設状況

### 一 農業教育の必要

比律賓の富源は土地にある。比律賓が工業國として發展するには國內に石炭と鐵を産しない。また商業國として發展するには比律賓が世界の商業上の要路に横つてゐない。然しながら土地は豊沃で降雨は豊富である。加之日照も多い。この天恵は農夫の手によつて金にかへられるやうに自然は手を拱いてまつてゐる。比律賓人が土地の富源を開發するには道路鐵道を建設し船を備へて交通機關の整備をはかり、また工場・都市・教會・學校の建築が必要である。人はただ恵まれたる土地から金を得るといふばかりでなく、一面に音樂美術等の教養が必要で文化生活の準備を興へ、生活の内容を豊かにし愉快に生活することのできるやうにすることも忘れてはならぬ。比律賓人が若し國內の土地の利用を十分にしたらば人民は富み且繁昌する。之に反し、若し怠惰にして土地をそのままに放棄し農耕に勵



第一 農業教育の必要とその教育施設状況

まなかつたならば、彼等は窮乏したる生活に満足しなければならぬ。比律賓の自然は天恵豊かにして比律賓人に大なる富源を興へてゐるから、人民は農業を勵みその自然のまゝなる國土を開發し諸産業の基礎をつくること、目下何よりの急務である。この比律賓の開發には農業教育は最も重大なる關係があるから、茲にその教育の必要を認め、比律賓政府では相當に注意もし、また努力もされてゐる。

二 農業教育施設の状況

比律賓に於て農業教育を施すところは小學校・農業學校・農科大學である。

(1) 小學校

比律賓の農業教育は、小學校の農業を度外して職業教育としての農業學校以上の學校だけと見ることはできない。即ち小學校の實科 (Industrial work) に農業の基礎が築かれてゐる。また高等小學校では普通科の外に特別の農業科があつて、純然たる職業教育としての低度の農業教育を施してゐる。今千九百二十六年出版の Philippine school report により、比律賓公立小學校に於ける學科課程を示すと次のやうである。

尋常小學校 (Primary School) の學科課程

第四學年	第三學年	第二學年	第一學年
國語	國語	國語	國語
英語會話 作法	英語會話 作法	英語會話 作法	英語會話 作法
公民衛生 (375)	公民衛生 (350)	公民衛生 (350)	公民衛生 (525)
讀方 (350)	讀方 (350)	讀方 (400)	讀方 (375)
發音 (50)	發音 (50)	發音 (50)	發音 (50)
算術 (200)	算術 (200)	算術 (150)	數へ方 (150)
綴方 (50)	綴方 (50)	綴方 (50)	書方 (100)
書方 (75)	書方 (75)	書方 (75)	音樂 (100)
音樂 (100)	音樂 (100)	音樂 (125)	體育 (125)
地理 (175)	郷土地理 (150)	體育 (125)	
體育 (125)	體育 (125)	實科	
實科	實科	男兒	
男兒	男兒	織維編或ハ籠或ハ	
結絲或ハ蓆或ハ帽子或ハバスケット或ハスリツパ或ハ彫刻木工或ハ刷毛或ハ箒或ハ園藝或ハ燒物或ハ農業クラブ作業 (225)	蓆或ハ手提或ハ帽子或ハ在來籠園藝或ハ農業クラブ作業 (175)	園藝或ハ農業クラブ作業 (175)	
女兒	女兒	女兒	
裁縫一週二回(90)	裁縫一週三回(105)	裁縫或ハ農業クラブ作業 (175)	
刺繡或ハレース或ハ縁取細工クロセ編或ハ帽子或ハ農業クラブ作業一週三回 (135)	レース或ハ刺繡或ハ編物或ハ帽子或ハ農業クラブ作業一週二回 (70)		

括弧内ノ數字ハ一週ノ教授分數ヲ示ス 別ニ斷リカキノアゲテナイモノハ一週五回テアル

第一 農業教育の必要とその教育施設状況



第一 農業教育の必要とその教育施設状況

第七學年	第六學年	第五學年
讀方 (200)	讀方 (200)	讀方 (200)
國語 (200)	國語 (200)	國語 (200)
綴方 (50)	綴方 (50)	綴方 (50)
發音 (50)	發音 (50)	發音 (50)
比律賓史ト比律賓政府 (100)	英語會話一週二回(40)	英語會話一週二回(40)
算術一週二回 (160)	作法公民衛生一週三回 (60)	作法公民衛生一週三回 (60)
圖畫一週二回 (160)	算術 (200)	算術 (200)
設計一週一回 (80)	圖畫一週三回 (240)	圖畫 (400)
工場實習木工或ハ鐵工 (600)	工場實習木工或ハ鐵工 (600)	工場實習木工或ハ鐵工 (400)

括弧内ノ數字ハ一週ノ教授分數ヲ示ス 別ニ斷リカキノナイモノハ一週五回テアル

工業科 (Trade Course)

第七學年	第六學年	第五學年
Opening exercises. (50)	Opening exercises. (50)	Opening exercises. (50)
讀方 (200)	讀方 (200)	讀方 (200)
國語 (200)	國語 (200)	國語 (200)
綴方 (50)	綴方 (50)	綴方 (50)
發音 (50)	發音 (50)	發音 (50)
英語會話一週二回(40)	英語會話一週二回(40)	英語會話一週二回(40)
作法一週三回 (60)	作法公民衛生一週三回 (60)	作法公民衛生一週三回 (60)
算術 (200)	算術 (200)	算術 (200)
生理衛生 (200)	地理 (200)	地理 (200)
比律賓史及比律賓政府 (200)	書方 (100)	書方 (100)
圖畫(男子ノミ)一週二回 (160)	圖畫一週一回 (80)	圖畫一週一回 (80)
實科	音樂 (100)	音樂 (100)
男兒	實科	實科
木工家具一週三回(240)	男兒	男兒
農業クラブ作業或ハ園藝 (400)	園藝或ハ農業クラブ作業一週四回 (320)	席或ハ手提或ハバスケツト或ハスリツバ或ハ木工或ハ家具園藝或ハ農業クラブ作業一週四回 (320)
女兒	女兒	女兒
料理家事一週三回(240)	料理家事一週二回(160)	料理家事一週一回(80)
裁縫一週一回 (80)	裁縫一週一回 (80)	裁縫一週一回 (80)
刺繡或ハレース或ハ編物或ハ農業クラブ作業一週一回 (80)	刺繡或ハレース或ハ編物或ハ農業クラブ作業一週一回 (80)	刺繡或ハレース或ハ編物或ハ農業クラブ作業一週一回 (80)
體育 (200)	體育 (200)	體育 (200)

括弧内ノ數字ハ一週ノ教授分數ヲ示ス 別ニ斷リカキノナイモノハ一週五回テアル

第一 農業教育の必要とその教育施設状況

高等小學校 (Intermediate School) の學科課程  
普通科 (General Course)



第一 農業教育の必要とその教育施設状況  
農業科 (Farming Course.)

第七學年	第六學年	第五學年
讀方 (200)	讀方 (200)	讀方 (200)
國語 (200)	國語 (200)	國語 (200)
綴方 (50)	綴方 (50)	綴方 (50)
發音 (50)	發音 (50)	發音 (50)
比律賓史ト比律賓政府	英語會話一週二回(40)	英語會話一週二回(40)
算術 (200)	作法公民衛生一週三回	作法公民衛生一週三回
農業 (200)	(60)	(60)
農業實習 (600)	算術 (200)	算術 (200)
最少	農業 (200) 最少	農業 (200)
雨天若シクハ必要ナ時	農業實習 (600)	農業實習 (600)
ハ圖書大工鐵工ヲナス	雨天若シクハ必要ナ時	雨天若クハ必要ナ時ニ
	ニ圖書大工鐵工ヲナス	圖書大工鐵工修繕ヲナス

括弧内ノ數字ハ一週ノ教授分數ヲ示ス 別ニ斷リカキノナイモノハ一週五回デアル

小學校の農業と食糧生産 小學校では學校園及び家庭園で食糧を生産するため、また兒童に産業的訓練を與へるために労働を課してゐる。尙生産に關して一般にその知識を廣めることは、未開拓地の多い比律賓では小學校の重要な任務の一つである。今日小學校兒童の農園労働は比律賓の社會に重大な效果を示してゐる。學校園及家庭園の概況をあげると次のやうである。

	尋常小學校	高等小學校	中等學校	計
學校園を有する學校數	五・五三五	八九四		六・四二九
家庭園を有する兒童數	一一三・二二二	二七・三五五		一五〇・五七七
學校園及學校園見積面積				二・五四七
見積生産額				八九二・九〇一
蔬菜園を有する兒童數	一四五・五二一	三三・〇〇八		一七八・五二九
苗圃を有する學校數	二・八六六	六七六	一五	三・五七七
年度末に於ける林樹數				二八二・五八八

農業クラブ 兒童に農業趣味を養成し、また兒童を通してその地方農業開發を計るために、大概の小學校は男女兒の農業クラブが組織してある。クラブの仕事はどの學校でも見

第一 農業教育の必要とその教育施設状況



第一 農業教育の必要とその教育施設状況

ることができる。クラブは次の六部の中の孰れかで組織されてゐる。

養 鶏 部	Poultry Contest.
養 豚 部	Pig-raising Contest.
果樹園藝部	Fruit-growing Contest.
蔬菜園藝部	Vegetable-garden Contest.
玉蜀黍栽培部	Corn-growing Contest.
割 烹 部	Cooking Contest.

この農業クラブが比律賓の經濟的發展に如何に重要なかは、次に示す數字によつて知ることができる。

男女兒クラブの數	一、七六六
クラブ員の數	三〇、五七八
蔬 菜	九、五四三
養 豚	二、六六九
養 鶏	一一、四五五
果 樹	三、二二二

玉 蜀 黍	三一六
割 烹	二、三七三
飼養されたる豚頭數	六、五三五
飼養されたる鶏數	二八二、三〇七
クラブ員の生産額	四三二、一七三 <sup>比</sup> ・一九
蔬 菜	八六、四四六七三
豚	六二、五〇五八五
鶏	一一二、六四七七九
果 實	二六、九〇三八〇
農 作 物	一四、〇八二二三
料 理	二〇、五八六七九

農業クラブ組織につきましては第一回學事視察團復命書(官房調査課刊行)の冊子に小野視學官によりて記述されてあるから、こゝでは實際經營方法の概要をあげるにとどめる。

第一 農業教育の必要とその教育施設状況



## □ 蔬菜園藝部

この部はクラブ員として園藝をなす凡ての児童を入部させるのではなくて、寧ろ自分等の現在に於ける家庭園を擴張すればクラブ員となることができる。それ故この部は學校の農園規定に抵觸することがあつてはならぬ。また學校の園藝に従事する児童たちに邪魔することは斷じてならぬ。児童の努力によつてでき上つたよき蔬菜は、金になつてもたすことができる。尙野外の新鮮な空氣を吸つて働くから健康にもよい。児童の精神と肉體を發達させるのにこの上ないよい環境を與へるものである。

### 部の要項

- 一、男女兒は入部することができる。
- 二、各員は各自用として蔬菜を栽培するに必要な六十平方メートル以上の土地をもたねばならぬ。出来る限りこの土地は一區域がよい。
- 三、仕事は家庭又は寄宿舎でなすものとする。尙數人の部員が協同して同一空地を使用することを得る。學校に寄宿してゐる児童は學校の農園で仕事をするこゝろがよい。

- 四、蔬菜は児童によつて栽培するものとする。
- 五、女兒は監督教師の許可を得てその庭園の仕事の半分を花卉栽培に使ふことができる。
- 六、園地には一年を通して何か栽培しておかなければならぬ。
- 七、農園の適當な垣はクラブ員で作らなければならぬ。
- 八、凡ての仕事はクラブ員でしなければならぬ。但し女兒クラブ員が困難な垣づくり或は整地等をしないことは例外である。
- 九、各員は各自の種子を用意することが必要である。
- 一〇、各員はガードン・デーの品評會にその生産品を出品するものとする。
- 一一、賞品の必要ある場合にはその基礎を次の事項におく。
  - a 栽培の状況 四〇點
  - b 生産物の價格 三〇點
  - c 蔬菜品評會で與へられた品等 一五點
  - d 仕事に關する記述 一五點
- 一二、クラブ員は次の記録を備へておくこと。



第一 農業教育の必要とその教育施設状況

- a 耕作したる土地の總面積
- b 栽培した蔬菜の名稱
- c 生産物の價格
- d 販賣によつて得た金高
- e 年度に於ける仕事の利益

蔬菜園藝の榮

次のやうな題目で二十課に渉る小綴の冊子が刊行されてゐる。

- 一、教師に對する心得
- 二、蔬菜園の計畫
- 三、蔬菜園の垣
- 四、蔬菜園の注意
- 五、作業服
- 六、雨天になすべき仕事
- 七、家庭園の設備
- 八、蔬菜の選定
- 九、花卉の選定
- 一〇、土壤の用意
- 一一、蔬菜園の種子
- 一二、葉菜類
- 一三、トマトと茄子
- 一四、根菜類
- 一五、豆菜類
- 一六、瓜類

- 一七、收益法
- 一八、園藝一年
- 一九、蔬菜品評會
- 二〇、蔬菜の料理

□ 養 鶏 部

この部に入る兒童は、若き牝鶏を選択して之をもつてゐなければならぬ。廣東鶏がよい。若し出来るなら純系種をもちたい。若し出来るなら廣東鶏の若いよい牡鶏もこの事業のためにもちたい。最も利益の多いのはよい産卵鶏である。彼等に管理させる雛は他の鶏とはなした場所で飼はなければならぬ。

部の要項

- 一、男女兒は入部することが出来る。
- 二、各員は彼自身に管理する牝四羽と牡一羽をもたねばならぬ。最終學年の數は牝六羽である。
- 三、鶏の管理はクラブ員でなければならぬ。
- 四、適當な養鶏場、鶏舎、時、餌料はクラブ員によつて容易に供給されねばならぬ。
- 五、クラブ員は鶏に青草を與へなければならぬ。



第一 農業教育の必要とその教育施設状況

六、各員は家庭或は寄宿舎でその仕事をしなければならぬ。

學校に在學してゐる男女兒童は特別の一つの仕事として學校園でなしてよろしい。然し出來るだけ多くの餌料を生産しなければならぬ。

七、各員は一年に少くも三羽孵化させることを要する。若し彼等がさうすることを希望するならば、牝鶏の産んだ卵を用意して隣人から孵化のために就巢鶏をかりて孵化させることである。

八、各員はガードワン・デーの品評會に鶏を出品しなければならぬ。

九、賞品の必要ある場合はその基礎を次の事項におく。

- a 生産した鶏の數 二〇點
  - b 資本に對する利益 二〇點
  - c 養鶏品評會で與へられた品等 二〇點
  - d 産ました卵の數 一〇點
  - e 養鶏場の状態 一五點
  - f 仕事に關する記述 一五點
- 一〇、クラブ員は次の記述をつくつておくこと。

- a 鶏の數と品種
  - b 産ました卵の數
  - c 孵化した雛の數
  - d 鶏の生産數
  - e 年度に於ける仕事の利益
- 養 鶏 の 榮

次の題目で二十課に涉る小綴の冊子が刊行されてゐる。

- 一、教師に對する心得
- 二、鶏の選擇
- 三、牡 鶏
- 四、養鶏場及び養鶏準備
- 五、養鶏場の作り方
- 六、鶏 舍
- 七、鶏舎の建築
- 八、時 (巢箱)
- 九、鶏のトマリ木
- 一〇、養鶏者の注意
- 一一、鶏の餌料
- 一二、病氣と羽蟲
- 一三、卵
- 一四、鶏卵検査法
- 一五、卵の料理
- 一六、就巢鶏(母雞)

第一 農業教育の必要とその教育施設状況



一七、育 雛

一八、鶏の病氣

一九、鶏の販賣

二〇、養鶏展覽會

### □ 養 豚 部

養豚部の男女兒はよい牝豚を得て家庭の仕事として養豚をする。その目的は男女兒童が利益多き養豚の仕事をしやうとするためにその適当な品種と飼養管理とを示すためである。養豚部員となることのできるものは、各自が管理することのできるもの、養豚設備のできるもの、クラブ員以外の豚とはなして飼ふことのできるものでなければならぬ。

#### 部 の 要 項

- 一、男女兒は養豚部に入ることができる。
- 二、各員は牝豚を飼養管理しなければならぬ。純系種で優良なもの。
- 三、各員は養豚に適當なる柵と豚舎と飼養の設備をしなければならぬ。
- 四、各員は自分で柵に注意しなければならぬ。
- 五、各員は養豚に必要な秣(綠草)を用意し十分に生産する。
- 六、各員は家庭或は寄宿舎に於て養豚をしなければならぬ。在學してゐる兒童は彼れ

等に農場で次の仕事が與へられてゐる。

- a 養豚につきては柵を作ること。
- b 兒童が養豚に必要な餌料を生産することのできる僅かな土地の耕作をなすこと。
- 七、各員はよき役立つ牝豚を飼育しておかねばならぬ。若し一定の場所を設けてそこに牝豚を共同的に飼育しておけば牝豚はこれによつて繁殖し得る。
- 八、各員はガードワン・デーの品評會に豚を虐待することなくして出品しなければならぬ。
- 九、賞品の必要ある場合にはその基礎を次の事項におく。

- a 豚の重量の増加 二五點
- b 資本に對する利益 二五點
- c 品評會で與へられた豚の品等 二〇點
- d 柵の狀態 一五點
- e 仕事の記録 一五點

一〇、クラブ員は次の記録をつくつておくこと。



第一 農業教育の必要とその教育施設状況

- a 各員が豚を飼つたとき秤かつた重量
- b 仔豚を産んだ日附
- c 學年末に於ける豚の重量
- d 若しあれば仔豚の數
- e 學年初めと學年末に於ける豚の價格

養豚の榮

次の様な題目で二十課に渉る小綴の小冊子が刊行されてゐる。

- 一、教師の心得
- 二、豚の選擇
- 三、豚舎とその準備
- 四、豚舎の建設
- 五、飼槽の作り方
- 六、養豚者の注意
- 七、飼料と秣
- 八、豚の保健
- 九、牡豚
- 一〇、豚の蕃殖
- 一一、母豚の管理
- 一二、仔豚の管理
- 一三、豚の去勢
- 一四、豚の二大病氣
- 一五、豚展覽會の準備
- 一六、豚の屠殺

- 一七、豚の飼養
- 一八、ソーセージの製法
- 一九、ラードの製法
- 二〇、豚の調理法

□ 玉蜀黍栽培部

この部は千九百十二年に始まつて四箇年の間特別計畫として指導され來つた玉蜀黍(改良)運動の玉蜀黍栽培部の引継ぎである。この結果として玉蜀黍の收穫増加を見、また食料としての用途が擴められて來たのが最も顯著な事實である。

既に成功したことは作付面積が四六%、總産額が二五八%、平均産額が九〇%の増加を見たといふ報告によつて最もよく示されてゐる。

部の要項

- 一、男兒だけ入部することができる。
- 二、各部員は自分の使用に供するために百平方メートルの土地をもたなければならぬ。
- 三、作業は兒童の家庭或は寄宿舎の若干の空地に於てしなければならぬ。兒童がその住んでゐる附近の學校に通ふ場合には學校農園で之を行つてもよい。
- 四、各員は自分の土地に垣を作り種子をまかなければならぬ。
- 五、各員は自分の仕事は自分でしなければならぬ。

第一 農業教育の必要とその教育施設状況



第一 農業教育の必要とその教育施設状況

六、玉蜀黍を主として栽培しなければならぬ。  
 七、農園には第二期の玉蜀黍か或はその他の作物を栽培して年中遊ばせておかぬやうにしなければならぬ。

八、各員はガードワン・デーの品評會に玉蜀黍の穂を五つ出品しなければならぬ。若し自分で栽培した玉蜀黍が出来なかつたら他から得たのを十本出品しなければならぬ。而し、他の部員が自分で栽培した玉蜀黍の審査を受けたときは他から得て出品したものに對しては賞品を得る資格はないものである。

九、各員は自分の玉蜀黍がまだ農園に生えてゐる間に次にまく種子を選択しなければならぬ。

一〇、各員は自分の最上の玉蜀黍五本をクラブ員の會合に出品して、比律賓に於ける公式記録カードである次のカードに記録しなくてはならぬ。

番 號	摘 要	價 値	評 點
一	出品の統一	一〇	
二	市場の状況	五	
三	穀粒の色	五	

四	穂の形	一〇
五	穂の釣合	一〇
六	太き方の部分(穂の)	五
七	尖端の部分	五
八	穀粒の列と列との間	一〇
九	穂と粒との割合	一五
一〇	純正	一〇
一一	粒の形状	五
一二	穂の重さ	五
	豫想評點	一〇〇
	實際評點	一〇〇

一一、賞品の必要ある場合にはその基礎を次の事項におく。

- a 百平方米に對する最大産額 三〇點
  - b 出品玉蜀黍五本の品等 三〇點
  - c 跡作物の栽培状況 二〇點
  - d 栽培に關する記述 二〇點
- 一二、クラブ員は次の記録をつくつておくこと。
- a 收穫した玉蜀黍の量
  - b 貯藏された良種子の量

第一 農業教育の必要とその教育施設状況



c 作物の價格

d 栽培に要した費用

玉蜀黍栽培の榮

次の題目で二十課に渉る小綴の冊子が刊行されてゐる。

- 一、教師の心得
- 二、玉蜀黍生産
- 三、玉蜀黍生産の注意
- 四、クラブの規則
- 五、玉蜀黍栽培の準備
- 六、確實な種子はどこから求めるか
- 七、種子の試験
- 八、玉蜀黍の手入
- 九、玉蜀黍の雜種
- 一〇、收穫及び貯藏
- 一一、玉蜀黍の害敵
- 一二、次の收穫までの玉蜀黍の種子
- 一三、玉蜀黍の用途
- 一四、玉蜀黍の料理
- 一五、食物としての未熟玉蜀黍
- 一六、皮を去つた玉蜀黍と玉蜀黍飯
- 一七、地力の維持
- 一八、玉蜀黍栽培の利益
- 一九、展覽會陳列品としての注意
- 二〇、玉蜀黍栽培の記録

□ 果樹栽培部

良好にして衛生に適する果物を澤山供給することにより得られる利益は大したものである。果物は熱帯地方に住む人の日常食料品の重要な一部となすことができるが、比律賓では十分な果物を有するとはいはれない。比律賓の各地には遊ばせてある土地が相當にある。この土地の若干かに果樹を栽培することは望ましいことである。蔬菜穀物等の栽培に適しない土地でも果樹の栽培をなすことができる土地がある。兒童はこの事實を人々に教へることができ、かなりの年月の間果樹栽培の聲が植樹獎勵運動に依つて先づ高調されて來てゐる。

この部に入り得るものは所要の數だけの木を植ゑることのできる土地を家に所有するものに限ることとする。この土地は兒童の勞力によつて果樹十本の栽植とその管理をなさしめるものであるから一區劃に限る必要はない。各一本の果樹は學校の勤勞課程の成績に對して十分の一のわけ前をもつてゐるものである。

部の要項

- 一、男女兒はこの部に入部することができる。



第一 農業教育の必要とその教育施設状況

- 二、各員は果樹苗木十本を得なければならぬ。但し昨年入部した部員は果樹十五本の世話をする必要がある。
- 三、果樹は各自の家で適當に栽培しなければならぬ。學校の補助を受けて生活してゐる兒童は、學校園の中に果樹を所有してもよい。その場合には學校の正規な果樹園計畫と明らかに區別され得る一區劃としておかなければならぬ。
- 四、栽培すべき果樹の種類・栽植距離・移植の方法は教師の明確な指導に従はなければならぬ。
- 五、果樹には支柱を興へ、且動物の被害を防がなければならぬ。
- 六、苗木の根元一米以内の土壤は之をよく耕して雜草を除かなくてはならぬ。
- 七、栽植する果樹にバナナ、木瓜を選定したときは之をバナナ園或は木瓜園にするやうに植ゑ、その土地に甘藷、落花生等を間作しておかなければならぬ。
- 八、栽植する果樹に鳳梨を選定したときは十本植ゑなければならぬ。出来るなら百本の鳳梨を植ゑて一つの鳳梨園をつくるがよい。
- 九、各員はガードウン・デーの品評會には五種以上の果物を出品しなければならぬ。
- 一〇、賞品の必要ある場合にはその基礎を次の事項におく。

- a 果樹園の状況 六〇點
- b 品評會で興へられたる品等 二〇點
- c 果樹園の記録 二〇點
- 一一、クラブ員は次の如き記録をつくつておくこと。
  - a 栽植果樹の數と種類
  - b 果物の生産量
  - c 學年末に生育してゐる栽植果樹の數と種類
  - d 一年間の利益果樹栽培の榮

次の題目で二十課に渉る小綴の冊子が刊行されてゐる。

- 一、教師の心得
- 二、果樹の選擇
- 三、果樹栽培者の注意
- 四、バナナの栽培
- 五、木瓜の栽培
- 六、バインアップルの栽培
- 七、果樹の蕃殖
- 八、苗木の移植
- 九、果樹の整枝
- 一〇、果樹の管理

第一 農業教育の必要とその教育施設状況



第一 農業教育の必要とその教育施設状況

- 一一、果 樹 園
- 一三、果物の用途
- 一五、ジェリーの製法
- 一七、木瓜の料理
- 一九、果物の販賣

- 一二、果樹園のカヴァークロップス
- 一四、普通果樹の處理
- 一六、バナナの料理
- 一八、バインアップルの料理
- 二〇、果樹栽培部員の休業中の仕事

□ 割 烹 部

家事科の設備の十分に調つてゐる學校に通ふ女兒や、その女兒の家が家事科擔任教師が調査に行き易い所にあるものだけをこの部に入れるのである。女兒たちは二人一組として入部しなければならぬ。家庭に於ける作業を監督したり、その各女兒がクラブの要件に適するや否やを見るの全責任を有する家事科擔任教師の推薦する所に従つて、クラブには二人、四人乃至六人の女兒を入れることができる。一人の教師が六人以上の部員の指導にあたるといふことは感心したことはない。

部の要項

- 一、家事科の女兒だけを入部させることができる。

- 二、各員は適當な割烹服を用意しなければならぬ。
- 三、各員はその家庭に於て毎日家事の仕事の一つを爲さなければならぬ。
- 四、割烹を實際にやるものは、その割烹に必要な食料その他のものを皆用意しなければならぬ。

- 五、各員は自分の仕事を自分でしなければならぬ。しかし、女兒は求められた食事の用意をしてゐる間は二人一組になつて働くことを許されてゐる。

- 六、各員は次の數の料理法を與ふことを要する。即ちスープ二種、鳥肉或は獸肉料理四種、魚料理四種、野菜料理六種、サラダ四種、果物料理四種、デザート二種である。

- 七、各員は大人五人の家族に出す分量を基礎とした料理法を知るやうにすることが必要である。

- 九、各員はその家庭に於て家族のために準備したり出したりする一食事を家事科擔任教師の監督の下に準備しつゝめることをしなければならぬ。この食事に要する費用は家族のものが平素の一食事に要する費用以上であつてはならぬ。

- 九、クラブ員は又少くとも三人のあつまり（その中の一人はクラブ員の父でも母でもよい）に對する十分な食事を家事科擔任教師監督の下に準備したりすゝめたりし



第一 農業教育の必要とその教育施設状況

なければならぬ。この食事は家事室で準備したり出したりするのである。そして道具は學校のを用ゐるのである。その料理はそのクラブ員の家に來客のあつた時に出すやうなことがあると思はれるものでなくてはならぬ。この食事に要する費用は六十セントタボス以下にすることである。女兒は金錢支拂明細簿を示すことのできるやうにしておくことである。

- 一〇、各員はガードワン・デーの品評會に際し食糧運動を援助する様にせねばならぬ。
- 一一、この部に入つてゐるものはガードワン・デーに他の部に入つてゐるものと同様、金を得るために菓子その他の飲食物等を賣るやうにすることである。
- 一二、賞品の必要ある場合はその基礎を次の事項におく。
  - a 食事のすゝめ方 四〇點
  - b 料理法の學習 三〇點
  - c 一年の仕事の記述 三〇點
- 一三、各員は次の記録をつくつておくこと。
  - a 學習した料理法の數
  - b 出した料理の一皿あたりの代價
  - c 菓子や飲食物を賣つて得た金額

料理の榮

次の題目で二十課に渉る小綴の冊子が刊行されてゐる。

- 一、女兒のクラブ 一一、魚
- 二、教師の心得 一二、家族の食事
- 三、厨とその準備 一三、食物販賣
- 四、保健の心得 一四、金儲になる飲食物
- 五、食物の選定 一五、甲殼類
- 六、蔬菜 一六、バナナミール
- 七、肉 一七、蔬菜サラダ
- 八、肉の料理 一八、椰子バターの製法
- 九、澱粉性食品 一九、牛乳(子供の食料)
- 一〇、保健食物 二〇、保熱器

(2) 農業學校

比律賓が主として農業國である事實から鑑みて職業教育としての農業教育を施す農業學

第一 農業教育の必要とその教育施設状況



第一 農業教育の必要とその教育施設状況

校の發展に對しては特別の注意が拂はれてゐる。千九百二十五年年度末に教育局によつて管轄されてゐる公立農業學校は三百十八校あつて、農業に關する實際的訓練が與へられてゐる。これ等の學校に於ては實際的方面と理論的方面の兩方に力を入れ、教室授業に加へて相當の大きさの農園を耕作し生産をなしてゐる。即ちその地方に適した農作物を栽培し、牛、豚、鶏等の農用動物を飼養してゐる。

これ等の學校の多數は生徒を一つの共同團體とし、生徒のなす仕事は比律賓の現在繁昌してゐる村でなされてゐるやうな仕事に従事させてゐる。

農業學校の學科課程 千九百二十六年出版の Philippine School Report により、小學校を卒業後入學する四箇年程度の農業學校の學科課程を示せば次の通りである。

第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
英語(5) 農業算術(5) 體育(2) I 園場實習(一週六日 毎日四時間) II 園藝(5) 或ハ III 農用機械(5)	英語(5) 人生物學(5D) 體育(2) I 園場實習(一週六日 毎日四時間) II 畜産(5) 或ハ III 農用機械(5)	英語(5) 農用昆蟲(5D) 體育(2) I 園場實習(一週六日 毎日四時間) II 農作物(5) 或ハ III 農用機械(5) 或ハ V 農業經濟	英語(5) 農藝物理(5D) 體育(5) I 園場實習(一週六日 毎日四時間) II 工場作業(5) 或ハ III 農用機械(5) 或ハ V 農業經濟

備考

括弧の中に示された數は一週の四十分授業數である。Dは二時間續或は八十分授業である。

I 農場實習は工場や農場の實際の仕事で組立てられ、きまつた日々の時間以外に必要である時は毎年生徒は工場作業建築作業に三百三十六時間を費すことに當てゝある。この時間中には、一學年と二學年の用器畫、三年の寫生畫、四年の構案と見積の八十四時間を含んでゐる。平常の實習時間の他に各生徒は一年間に二十四日間一日正味十時間労働に従事する。この努力は學校長が任意に建物の建築なり作物栽培或は農作物の收穫なり害蟲驅除なり、その他大農經營に屢々起る事變の處理等に適宜利用し得られる。

- I 農業教育と農業經濟の課程に對して課する。
- II 農業教育の課程に對して課する。
- III 農用機械の課程に對して課する。
- V 農業經濟の課程に對して課する。

中等程度の職業教育を授ける學校は一年中開かれてゐる。學年を次のやうに分ける。

(一) 學科期間は四十二週とする。

第一 農業教育の必要とその教育施設状況



第一 農業教育の必要とその教育施設状況

- (二) 全日圃場實習期間四週間とし、毎週六日毎日十時間實習を行ふ。
- (三) 試験と組換へをする期間を二週間とする。
- (四) 何時とつてもよい休暇を四週間とする

農業學校の種類 三百十八校の農業學校の中十四校が寄宿舎學校 (Agriculture School) で大き平均四百五十五ヘクタールの農場をもつてゐる。

十四校が晝間學校 (Farm School) で大き平均三十ヘクタールの農場をもつてゐる。よく開けた農村に設立されてゐる。

二百九十校は地方の農業學校で Settlement Farm School といふ。この學校は都會からはなれた偏卑な地方にあつて、非クリスチャンの間に設けられてゐる。大き平均二十ヘクタールの農場を所有してゐる。

Agriculture School 寄宿舎學校と稱せられもので、就中大きな農業學校は中央ルズン農業學校 (ムニヤスにあり) とトリニダット農業學校 (バギオ附近にあり) である。大體に於てその他の學校はこれ等の發展した形式と管理經營をまねてやつてゐる。實地に行はれる農業の經營の細部に於ては多少異なるが、生徒を各地方で働く様に教養してゐる。この型の學校は十四校で、二千九百の生徒を收容し千五百五十八ヘクタールの農場を耕作してゐる。Agriculture School の概況を示すと次のやうである。

教員數	アメリカ人	一九九人
	ヒリツピン人	一〇五人
在籍生徒數		二、九〇〇人
農園面積		六、三三八ヘクター
耕作面積		一、一五八
家畜數		
水牛		三九八頭
馬		三〇頭
役牛		七二
その他の牛		四九六
豚		七二七
鶏		八、六四二頭
生産額		
家畜		四一、九二八七 <sup>比</sup>
蔬菜		二八、一五二〇六
農作物		一一九、三九三〇九
果實		九、九五三・二三
その他		一〇、二七六・七九
計		二〇九、七〇三・七八

第一 農業教育の必要とその教育施設状況



第一 農業教育の必要とその教育施設状況

家庭生産

四六、二二九・三九

學校と家庭生産計

二五五、九三三・一七

Farm School 農業晝間學校として知られてゐる。學校はよく開けた農村に設けられ寄宿舎學校より小さい農園をもつてゐる。生活設備や食糧は校内で用意されてゐない。然しその他の大部分は Agriculture School の仕事をそのままやつてゐる。これ等の型の學校の大部分は設備が不十分なるにも拘らず實際農事方面の仕事も大體前の學校と同じである。Farm School の概況を示すと次のやうである。

校数	一四
職員数	アメリカ人 一〇四人 ヒリツピン人 一〇四人
生徒数	二、五〇五
農場面積	四四〇ヘクタール
耕作面積	二〇四
家畜数	
水牛	一二三頭
馬	三頭
役牛	一三
その他の牛	一二三

豚

二九九

鶏

二、八四六

生産額

家畜	一一、三四〇・五八
蔬菜	九、七八二・〇一
農作物	二五、五三三・九五
果實	一、三二一・五三
その他	一四、三三七・〇六
計	六二、三二四・一三
家庭生産	二七、三〇七・二〇
學校家庭生産總計	八九、六二一・三三

Settlement Farm School 三つの農業學校の中最も知られてゐないのは純粹の地方のこの農業學校である。この型の學校は千九百二十五年末に於て二九〇校設立されてゐる。これ等の學校はごく偏卑な地方にあつて大多數はミンダナオの同化せざる住民の間にある。この學校は學校附近に永久に定住する様に奨励するために、水草を逐うて多少移住する所の住民の間に設けられたもので、本來は Primary School である。然し今日では水草を逐

第一 農業教育の必要とその教育施設状況



第一 農業教育の必要とその教育施設状況

うて移動しない農村の間にも設けられてゐて耕種が重なる仕事である。これ等の學校の實際の教授は、教師及生徒のための設備が不十分であるにも拘らず、他の學校よりも職業的である。學校と同じ地方にある狭い土地に直接應用されるやうな改善された方法を生徒に教へる様に實際的で卑近な農業が行はれてゐる。新しき且發展すべき農村の中心となり生産的農地に永遠に定住するやうに多大の感化を興へてゐる。これ等の多くの農園は熱帯森林と草原を切り開いたものである。この學校農園を作りそして發展せしめた教師は勢力的で進歩的であつて、その熱誠とその能率に對する一つの記念碑として農園がたつてゐる。

Settlement Farm School の概況を示すと次のやうである。

學校數	二九〇
教員數	アメリカ人 一 ヒリッピン人 五〇九
生徒數	一八、三七四
農園	五、八四五 <small>(ヘクタール)</small>
耕作面積	一、三八一
家畜	

水牛	二一四 <small>頭</small>	馬	四 <small>頭</small>
役牛	一八二	その他牛	九一
豚	三三四	鶏	三、五九 <small>羽</small>

生産額	
家畜	一五、二八三 <small>比</small> 九六
蔬菜	一二、一九五九四
農作物	六九、七三八 <small>比</small> 三五
果實	一六、四一六 <small>比</small> 七九
その他	二、六九四 <small>比</small> 〇六
計	一一六、三二九 <small>比</small> 一〇
家庭生産	五、八三九 <small>比</small> 〇八
學校家庭總生産	一二二、一六八 <small>比</small> 一八

(3) 農科大學

農科大學は比律賓大學の一部として千九百九年六月に始められた。そのときは十二人の學生が居り、教育局からかり受けたテナント内でその組織が初められた。千九百九年の十月

第一 農業教育の必要とその教育施設状況



第一 農業教育の必要とその教育施設状況

に假校舎が建設され、その學年度末には五十六人の學生がゐた。最初は設備に於て教授及學生の必要を充すことができなかったが、その後除々に設備され十數年を経た今日では略完成し、學生は六百五十を越へ、八分科百課目、教授は八十四人で、熱帯農業の研究について見るべきものある大學である。卒業生を出すこと三百八十餘人、何れも官吏教員實業家として比律賓農業界に大いに活動しつゝある。

農科大學の事務を處理するために次のやうに分けてある。

Dean of the College : Professor Charles Fuller Baker.

Secretary of the College : Assistant Professor Mariano C. Lopez

Heads of the Departments :

Agricultural Chemistry : Professor Manuel L. Roxas

Agronomy : Dean C. F. Baker

Animal Husbandry : Professor Bienvenido M. Gonzalez

English : Associate Professor Emma S. Yule.

Entomology : Associate Professor Leopoldo B. Uichanco

Extension Activities : Professor Innocencio Elayda

Plant Pathology : Assistant Professor Gerardo O. Ocfemia

Plant Physiology : Associate Professor Rafael B. Espino

Rural Economics : Assistant Professor Mariano C. Lopez

Rural Engineering : C. P. Johnson.

Military Science : Lieutenant Amado Martelino.

Physical Training : Instructor Simon P. Santos.

第二 視察學校

一 小學校

視察した學校は、小學校ではマニラ、バギオ、ダバオ、ミンタロの日本人小學校と、マニラ市シンガロン、マニラ市サンタクルス、マニラ市ツロゾ、ロスバニョス、カランバ、バギオ、ダバオ、サンボアング、バサナンの比律賓人小學校とであるが、今茲ではカランバ、ダバオの比律賓人小學校につきて述べ他を省略する。

(1) カランバ小學校

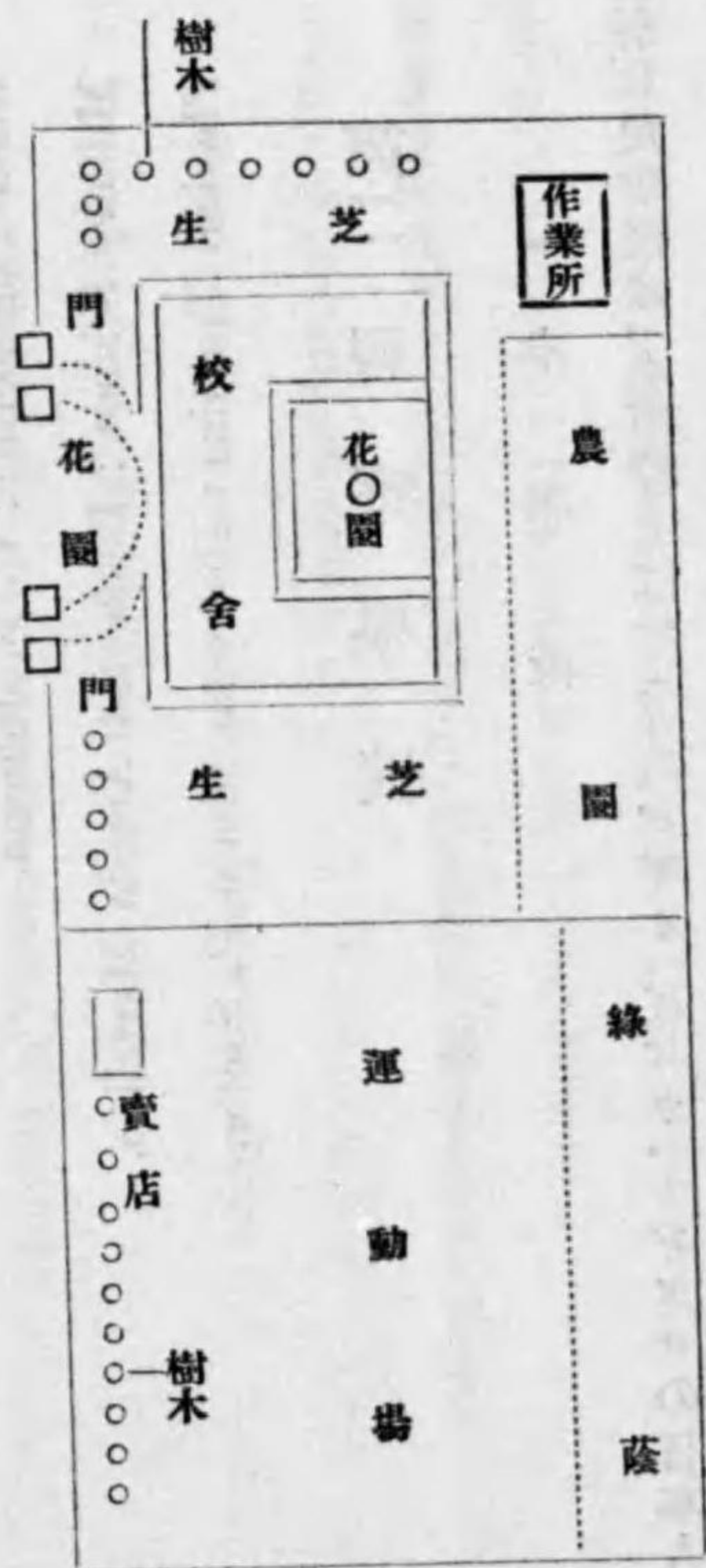
カランバはラグナ州にありて比律賓の愛國者リザールの誕生地として有名な所である。

第二 視察學校



第二視察學校

この附近は米作、甘蔗作が盛んである。小學校は Miss. Conception Elemano の經營するところ、模範學校として知られてゐる。學級數四十、職員四十五(男一〇人、女三五人)、生徒男兒一、一四三人、女兒八三二人計一、九七五人である。この學校には四箇所に分教場が設けられてゐる。校地は大變優にとられてあり、學校の周圍は鐵線をめぐらし校舎の前に校庭を設け稍々整頓してゐる。綠蔭及纏繞裝飾等も設けられ居る。



校舎配置圖

校舎は鐵筋コンクリート木造混合の建築で凹字形に建てられてゐる。床下は高さ約二米あり、窓は非常に廣く大廻轉戸が備へてある。校舎の外に附屬建物として作業場、農具室、倉庫を兼ねた一棟があり、教室は大抵横に廣くして縦に短かい。これは分團教授をなすに都合

がよいからである。光線は左方より入る様に生徒を排列してゐる。殆んど凡ての教室の黑板は自習課題板書をしてあり、又壁面には偉人の肖像及び參考繪畫を貼りつけ、又教室の教卓及び周圍には盆栽をならべ教室の美化につとめてゐる。兒童の正面中央に三四尺平方の Sand table をおき、箱庭或は地理模型或は教材を具體化し兒童の教授に利用されつゝある。農場はその面積約千坪もあつて幅一米長十米の畦作にしてある。それに菜豆、大根がまきつけてあつて少し芽をだしてゐた。恰度雨あがりて畑は非常に濕り手入も十分でなく、畑の半分は耕されたまゝでそのまゝにしてあつた。日本式の農業から見ると誠に粗放なやり方である。

農業教師 Mr. Bonifano Ruamero は次のやうに語つた。

この學校では農業を兒童の入學した初めからやらしてゐる。兒童には毎日八十分の作業をさせて農業を實際的に營ましめ、各學年には一定の地區を分ち、各兒童に一區を與へそれを耕作せしめてゐる。實際の仕事させつゝ適當な指圖によりて農業を教へてゐる。兒童一人は幅一米長十米の地區を分擔し、各季節に適した作物を選んで栽培するが一定の作付順序はきめてない。作物は蔬菜が主である。生産物は賣却して學校及び兒童の收入とする。

第二視察學校



第二 視察 學校

兒童の實習狀態は本島の兒童がなしてゐるのと別に大して變りがない。

(2) ダバオ小學校

ダバオの名は南洋に於ける日本人の農業植民地として知られてゐる。このダバオを中心としてこの地方に日本人が現在約六千人もゐる。この地方一帯マニラ麻、椰子の栽培に適してゐるので主にアバカ、椰子栽培に従事してゐる。

ダバオはミンダナオ島の東南ダバオ灣の奥にあるサンタアナの埠頭より約二町ばかりの所にある市街である。幅廣き道路は縦横に通じその路傍には椰子及び熱帶樹木が生ひ茂り、その間に人家が約二百戸ばかりある。何れもバラック建或は比律賓式のニツバ葺のものである。寧ろ町といふよりは村といふが適當である。

小學校は市街の東の端にある。校舎は木造鉛板葺の建物で凹字形に建てられ、その設備等はカランプのによく似てゐるから茲では省略する。在學兒童約五百人教師十二人である。兒童の中に日本人兒童が二人居る。然しどれが日本人やら比律賓人やら見分けがつかない。あれが日本人兒童だときいてそうかなと思ふ位よく似てゐる。

學校敷地は約八ヘクターあるが、現在校地として利用されてゐる所は約二ヘクターもない。その他は殆んど自然の熱帶雜木及び草生で何等手の入れてない原野である。農園は蔬

菜園を主とし兒童一人に幅一米長二十米の土地を分擔させ、それに茄子・蕃茄・大根・葱等を栽培し、又その周圍にバナ、鳳梨、椰子等を栽培してあつた。校庭には花壇、綠蔭、綠蓋等の設備なく、只學校の周圍に僅かの椰子が生ひ茂つてゐるのみである。校門及び校舎の正面は一帶の芝生とし、アルテルナンセラ、コリウス、クロトン、カンナ等で處々を飾つてあつた。要するにこの地の農業は荒蕪地を變して沃田となしつゝある實際的農業である。農業教師もこれからこの原野を切り開いて農園を廣くし、また校地も次第に整理して行くのであるといつてゐる。本島及び日本内地等の校地及び農園の狭きものにくらべると殆んど原始的である。

二 中等 學校

(1) トリニダット農業學校

ベンゲット州バギオの近くに在る農業學校で Mr. James H. Wright の經營する有名な農業學校である。その概況は左のやうである。

教 師	一八人	内アメリカ人	一五人
在籍生徒	四四一		
敷 地	一、四八〇ヘクター		

第二 視察 學校



第二視察學校

耕作地

六九ヘクタール

飼育家畜

水牛

二二頭

馬

一八頭

役牛

八

牛

六四

豚

四三

鶏

一、二四五羽

生産額

家畜

七、七九五比

蔬菜

一九、五〇〇

農作物

四、三〇〇

果實

一〇

その他

八五〇

計

三二、四五五

生徒一人の耕作面積及び生産額

一〇〇乃至一、〇〇〇平方メートルを耕作し、生産額平均三〇〇比である。

實習作物

蔬菜を中心としてゐる。

生産物

生徒の生産物を賣價の三分の二にて買上げ、その純益は學校の收入として實習

その他の費用に充てる。生徒は自ら労働して得たる金の中より食費月額約九比

と諸雜費を支出して尙餘るといふ。

設備 本館一棟、教室一棟、その他工場、寄宿舎、官舎等があり、亦水道の設備もあつて便利である。

農場 その經營は頗る粗放にして大農式である。作物は蔬菜が主なるもので恰も視察當時は多く甘藍が植付られて居り、その生産したものは遠くマニラ市に運び出すといふことである。

(2) サンボアンガ師範學校

師範學校ではサンボアンガ、マニラにある二校を視察したが、茲では實科の課せられてゐるサンボアンガ師範學校のみにつきてのべる。

サンボアンガはミンダナオ島の西南端にある。パシラン島に面しシブケイ灣口に位置してゐる。人口は約三萬人、市街はコンクリート造で街路に樹木を植ゑ花壇を作り奇麗な街



### 第二視察學校

である。師範學校は市の西北にある。生徒約七百人中女生徒が二百人ゐる。男女共學で、教師は二十五人、校長は Mrs. Mary T. Russell である。校舎は鐵筋コンクリート二階建て堂々たる建築物である。別に料理割烹室一棟がたてられてをり。講堂圖書室等の設備も整つてゐる。校舎の附近は椰子林で繞らされ風景がよい。如何にも熱帶的風景美を現はしてゐる。

Industrial Work は第一學年に課し毎週三回一回八十分宛である。男生徒には農業を女生徒には料理割烹をさせてゐる。

農場は學校校舎と道路一つを隔てた所にあつて、四ヘクターの面積がとつてあり、立派なスタンドが設けられたグラウンドがそれに隣つてゐる。實習生徒は約百人で農業教師は一人ゐる。

農場は畑作が主で、その一部に水田を設けて稻作をなしつゝあつた。畑には茄子菜類等が栽培されてゐたが、粗放なる大農式にして集約なる日本農業の眼より見れば管理が未だ十分でないやうである。

耕作されつゝある土地は農地の一部でまだ開墾擴張の餘地は十分にある。

### 三 農科大學

農科大學はロスバニョスから四軒はなれた一等道路に沿うた地點で、マニラ鐵道のジャンクション驛から二哩はなれた所にある。この大學までは自動車により、マニラ鐵道により、又ラグナ湖のヤングゴ汽船による等諸種の便がある。

學長は Mr. Charles Fuller Baker で、多年大學經營に努力し學生の信望を一身にあつめてゐる。生物學者で家には比律賓を中心として世界各國の昆蟲や動物を處狭きまであつめてゐる。

大學の組織は次の九科に分れ、教授調査研究がなされてゐる。

農藝化學(製糖を含む) 種 藝(園藝、農場管理、育種、土壤を含む)

畜産 英語

昆蟲(動物を含む) 植物病理

植物生理 農業經濟(評價學を含む)

歴史及農用機械(數學と體育を含む)

農科大學はラグナ湖に近いマキリン山の麓三百七十七ヘクターの土地を占めてゐる。マキリン山とその山麓の丘陵は森林局の管理に屬し政府經營の植物園になつてゐる。

大學は永久的にできたコンクリート建築物十五棟と、木立の輕材料でできた數個の建物



からなつてゐる。各分科では科學的に熱帯農業を研究しまた教授されつゝある。種藝 比律賓在來の農具、進歩したる農耕器械と三臺のトラクターを設備し、多くの面積の耕作に使用してゐる。永久的の農用樹は約二萬五千本植付けられてゐる。畜産 牛、印度牛、水牛、豚、羊、山羊等を飼育し、牛、羊、山羊は放牧し豚鶏は舍飼である。農用器械 山の天然水を利用して電力を起し電燈とし、各建物及び構内住宅に利用し、又實驗用の動力にも使はれてゐる。且三臺の貨物自動車設備されてゐる。農藝化學 砂糖製造の順序を生徒に教授するため小規模の製糖工場が設備されてゐる。植物病理 標本が割合によく整理されてゐる。昆蟲飼育により或は野外採集によつて蒐集し相當に集まつてゐる。植物生理 二萬以上の腊葉を藏してゐる。その一部はベーカー氏の寄贈によるものがある。

圖書館は大學本館の右側に設けられ、日々學生がそれを利用してゐる。藏書は一萬六千冊の農業専門書で、その価格は約五千六百磅である。農科大學の設備費は四十三萬比で現在設備の平均一人當りは約六百比である。

農科大學の機械雜誌として The Philippine Agriculturist が發刊されてゐて、それに教授

學生の調査研究が發表されてゐる。

學生の生活 農科大學の學生は次の四箇所に寄宿してゐる。(1)政府で建てられた十棟の寄宿舎に寄宿してゐるもの、一棟には六人から三十六人ゐる (2)基督教青年會と教會で建てた寄宿舎に宿つてゐるもの (3)學生によつて建築し經營されてゐる二十棟のクラブに寄宿してゐるもの (4)サンアントニオとロスバニョスの椰子林の中の下宿屋に寄宿してゐるもの等である。また學生總數の三分の一のために食堂を經營してゐる。これは多くの學生の共同經營である。

大學の教授と學生が共同で組合を設け、學生の教科書學用品は勿論その他衣服雜貨等を安價に供給してゐる。又毎週金曜に活寫するマキリン、キネマの學生は株主で自由に觀覽することができる。

凡ての學生は Student Body Association の一員であつて、地方的偏見を超越し社會的に運動競技に活動して校風樹立に努め相當の效果をおさめてゐる。而してこの大きな團體は平民的に實社會的に自治團體として組織されてゐる。

校庭には舊教とローマン・カトリック教の教會堂が建てられてゐる。

大學の學生の生活費は一箇月約二〇比乃至二五比を要する。凡て學生の三分の一は彼等



自身の労働によつて勉學をつゞけてゐる。彼等は學生としての労働に従事し或は大學の助手としての俸給によつてゐる。學生が自活するにしても、學生が大學に入學するときに拂ふ授業料と學生が自活の基礎を得るために或期間必要である學資金即ち最初の四箇月間の準備をしておかなければならぬ。

### 第三 比律賓の農業教育の概括

#### 一 比律賓の初等教育の中核は英語教育と産業教育である

小學校の學科課程を見ても、またその教授の實際を見ても初等教育の中核は英語教育と産業教育とであるといへる。

英語教育 英語教育は初等教育の一半である。英語教育は一八九八年に米國の領有に歸して後、教育機關の改善増設米人教師の招聘等銳意島民の向上英語の普及に全力を注いだから、今日に至るまで二十有餘年の歲月であるのにその實績が大いに現はれ、司法行政の公文書は大部分英語を使用し、又立法部でも英語を比律賓の國語としやうとする議論まで起り、米國教育の下に成長した代議士教育家の如きはその實現を期し引續き努力中である。而して小學校に於ける英語教育はその大宗にして相當成績をあげてゐる。

産業教育 一般に比律賓人は身體的労働を排斥し、それがため從來産業の發達を大いに阻害してゐる。然し將來比律賓が興隆發展するには、産業を勃興させ經濟的發展をとげなければならぬ。それにはその根柢を實業教育において産業的國民を作り實業の振興によるより外はない。之が大いに實業教育を重んずる所以である。産業教育は小學校より開始され、高等小學校に至るまで漸増的に授け、中等程度に至りては職業的に教授し、何れも實習に重きをおきその生産収入は學校の經濟を助けてゐる。

また産業教育の進歩向上を計るため視學をおき、常に巡回指導の任にあたらせてゐる。要するに比律賓の産業教育は經濟的に獨立することのできる優れた産業國民を作るためである。

#### 二 産業教育の主要部は農業教育である

小學校の實科を見るに種々の仕事があげられてゐる。即ちバスケット、スリッパ、木工、家具、園藝或は農業クラブ作業、刺繡、レース等である。これ等の産業的作業の種別を兒童の數の上より或は學校の數の上より見ると、農業に屬する庭園作業或は農業クラブ作業が大部分を占めてゐる。

また中等職業教育の中でも商業、工業、農業その他があるが、就中農業學校が最も多い。



第三 比律賓の農業教育の概括

今その數を示すと次の通りである。

農業學校	三一八	工業學校	三八
師範學校	八	商業學校	一
航海學校	一		

以上の如く産業教育の主要部は農業教育である。

三 實科は上級にすゝむに隨ひ漸増的に課してゐる

小學校の實科は第二學年より課し、毎週二年は一七五分、三年は一七五分、四年は二二五分である。また高等小學の普通科では毎週五年は三二〇分、六年は三二〇分、七年は四〇〇分であるが、高等小等の農業科工業科の如きは五年、六年、七年ともに六百分以上を費してゐる。かく學年の進むに隨ひ實科を漸増的に課し、實用教育を施し産業的訓練に資してゐる。實科教育は或一定年齢の間に實際的陶冶を要し、若しその時期をすごしたものは労働を仕込む機會を失ひ、到底眞の手足を勞する労働者にならないといふが、農業者の如きは十四歳以下の折から實務に従はせる必要があるといつてゐる。比律賓に於て幼より實科を課し漸増的に進み産業に親み、その鍛練の機會を多くしてゐる。これ實科教育上特に注目に値する。

四 小學校の實科は興味と性癖を發見させるための産業的訓練として課してゐる

小學校では一般の兒童に對して種々なる産業的仕事が課せられてゐる。この仕事により自分の能力を發見し、又將來或職業的技能を修得するためにその兒童の性癖の適否が如何なる方向に向つてゐるかをきめる。その範圍を調査することを獎勵するためである。それ故小學校の實科はただ實用上の見地のみならず、かゝる兒童に産業上の興味と自己の性癖を發見させるための産業的訓練であることを見逃してはならぬ。

五 農園と苗圃は大抵の農村小學校に設けられてゐる

農業を小學校で課する以上は農園或は苗圃は必ず設備しなければならぬ。比律賓に於て學校農園を有する小學校は六、四二九校で小學校數の九割以上にあたつてゐる。家庭農園を有する兒童數は一五〇、五七七人である。また苗圃をもつてゐる學校數は三、五七七である。比律賓は人口の割に土地廣く、これ等の農園及び苗圃は容易に得られる便宜があるから、農村小學校では大抵十分に設備されてゐる。

六 實科の教授は遊戯的より實用的に進んでゐる

前にのべた如く實科は第二學年より課し、初は纖維細工或は花卉蔬菜等の栽培をさせ殆



んど遊戯的にやらせてゐる。それが高等小學になれば殆んど實用的科學的經營を行ひ、その收支決算は勿論、なるべく利益をあげるやうに最も努力されてゐる。この點は實科教授に於て重要な點である。

### 七 農業の中心は蔬菜栽培と養鶏である

農業の業務は種々ありて地方により一様でない。蔬菜栽培、果樹栽培、玉蜀黍栽培、養鶏、養豚、植樹等あるが、就中最も多く行はれてゐるのは蔬菜栽培と養鶏とである。蔬菜生産は兒童十七萬八千五百二十九人、耕地面積二千五百四十七ヘクタール、生産價格八十九萬二千九百一比である。養鶏は農業クラブ作業としてその主位を占め、兒童一萬二千四百五十五人その生産額二十二萬一千六百四十七比である。元來比律賓には比較的優良なる蔬菜が少く、また年々多部の蔬菜を輸入してゐるが故に、學校園に於て家庭園に於てその栽培を奨励してゐる。次に養鶏は比律賓に於て鬪鶏盛んにして強健なる鶏を好愛するのと又その肉と卵の利用多きため随つて養鶏の發達を促したるものであらう。然しまた容易に飼養し易きもその一理由である。大體に於て小學校農業は蔬菜栽培と養鶏を中心としてゐる。

### 八 簡単な施設で農業を實施してゐる

マニラ市の小學校を除く外大抵の小學校に行つても農園をもつてゐる。中には未だ開墾

しない自然の草生地であるものもあり、ただ耕作する圃地のみ竹或は鐵線を繞らして圍んでゐる。僅かの農具により粗放的に經營されてゐる。家庭園に於ては家庭で農業する方法で家のものを用ひて實施してゐる。従つてその生産も面積に對して極少量である。

### 九 専科教員によつて農業は教授されてゐる

小學校で農業を課する學校では大抵農業専科教員がいてゐる。これ等の教員は大抵中等程度の農業學校の卒業生である。これ等の教員により校庭の築造植樹は勿論農園の經營或は家庭園の指導等をなさしめてゐる。

### 一〇 女子には農村の主婦たるに適する教育を授けてゐる

實科の仕事は種々あるが女子には實科として裁縫の外農業クラブ作業を課し農村の主婦たるに適するやう教養してゐる。殊に上級生には農業クラブ作業として料理割烹を課し、食物の調理製菓を實際になさしめ、その調理した食物は賣店に於て賣却し或は市場で販賣し、その収入利益も相當の額に達してゐる。實際に農村の主婦として役立つやう教育するを主眼としてゐる。

### 一一 高等小學校は普通教育と職業教育に分れてゐる

高等小學は普通科、工業科、農業科の三つに分れてゐる。一般に中等學校に入學するも



のは普通科に入學し、また卒業後直ちに實業に従事するものゝためには特別の工業科農業科が設置されてゐる。現在に於ける職業科は工業科二十六校農業科二十八校あつて、これに入學する生徒は最近六箇年間に減少してゐる。その理由は

- (1) 従来よりよい年少の生徒が入學するやうになつた、さうしてその生徒は職業教育を受けるにその身體がまだ十分發達してゐないこと、
  - (2) 中等職業學校の入學は速かに増加しつゝあること、
- によるのでこれは驚くべき現象でなく當然である。

一一二 高等小學の普通科にも職業的教科を多くしてある

高等小學の職業科に入學するものは別として、普通科に入學するものも職業的教科は多く課せられる。第五、六學年にては實科は毎週三百二十分、第七學年にては毎週六百四十分即ち總時數の三割一分に當つてゐる。而して毎週六學年男兒に園藝或は農業クラブ作業三百二十分、七學年男兒に園藝及び農業クラブ作業毎週四百分を課してゐる。これ實益より、また産業的訓練の上より頗る重要視すべきことである。

一一三 農業クラブ作業を奨励してゐる

どこの小學校にいつても農業クラブ作業が行はれてゐる。總クラブ員は三〇、五七八の兒童である。さうしてその農業クラブは比律賓島の經濟發展に重大な地位をもつてゐる。クラブ經營の参考書として六級の小冊子が刊行されてゐる。各學校教師はそれを大抵指針として、その地方實際に適切なる様に經營してゐる。

一一四 農村小學校の兒童は家庭園を有してゐるものが多い

比律賓は天惠豊かにして農耕地として適するものが多いに拘らず、その利用至らず米・蔬菜等の輸入多額に上る。こゝに於て兒童の家庭附近の土地を利用し作物栽培をなさしめその生産を奨励しつゝある。家庭園をもつてゐる兒童數は尋常小學一二三、二二二人、高等小學二七、三五五、計一五〇、五七七人である。

一一五 農業學校農科大學の生徒學生は働きつゝ勉強ができる

農業學校及び農科大學の生徒學生は自らの勞働によつて自活しつゝ勉強し得るやうにできてゐる。余の視察せるヒリップピン農科大學の學生の三分の一及びトリニダッド農業學校の生徒の一部は學校寄宿舎に住し、勉學の傍ら學校農地を耕作し、それによる收入により食費その他學校の費用を支辨しつゝある。まだその寄宿舎生活の如きも自治團體とし實社會的に組織し種々の娛樂機關も學校内に設けられ居る。

一一七 農園經營は一種の小作制度である



第三 比律賓の農業教育の概括

一定面積の農園を貸し與へそれを生徒に耕作させ、その收穫物は市價の三分の二にて學校に買上げそれを生徒の收入とし、學校はその三分の一を收得し學校經營の費用にあてゐる。これは農業學校農科大學の農園經營法であるが、一種の刈分小作の如き制度である。小學校の農業もかゝる方法によつてゐる所もある。この方法によれば生徒の努力次第で收入をまし自然兒童が喜んで努力するに至る。

附記 本文中記載の統計數字は比律賓學年報(一九二六年出版)によつてゐる。

比律賓の農業教育 終

附 録

一、比律賓に於ける學校農業の生産統計

(學年度一九二四年—一九二五年)

農 園

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| (1) 學校園の數       | 六、六三三                  |
| (2) 家庭園の數       | 一五〇、七五八                |
| (3) 農園作業に従事する兒童 | 一七八、九一〇 <sub>人</sub>   |
| (4) 農園の生産額      | 八九九、二一六 <sub>比</sub>   |
| (5) 農園の面積       | 二、五八八 <sub>ヘクタール</sub> |
| 農業クラブ           |                        |
| (1) クラブの數       | 一、七六六                  |
| (2) クラブ員の數      | 三〇、五七八 <sub>人</sub>    |
| (3) 生産額         | 四三二、一八三 <sub>比</sub>   |
| (4) 豚を管理してゐるもの  | 六、五三五 <sub>人</sub>     |

附 録



附 録

(5) 鶏を管理してゐるもの

二八二、三〇七<sup>人</sup>

Agricultural Schools

一三三

(1) 學 校 數

二、六〇一<sup>人</sup>

(2) 在籍生徒數

二五五、九三三<sup>・</sup>二七<sup>比</sup>

(3) 農業生産額

一、一五八<sup>ヘクター</sup>

(4) 耕作面積

Farm Schools

一四

(1) 學 校 數

一一、三三二<sup>人</sup>

(2) 在籍生徒數

八九、六二二<sup>・</sup>三三<sup>比</sup>

(3) 農業生産額

一一〇四<sup>ヘクター</sup>

(4) 耕作面積

Settlement Farm Schools

二九〇

(1) 學 校 數

一一、二三三<sup>人</sup>

(2) 在籍生徒數

一一三二、一六八<sup>・</sup>二八<sup>比</sup>

(3) 農業生産額

(4) 耕作面積

一、三八一<sup>ヘクター</sup>

統 計

農業を學習した兒童及生徒

(1) 農園によるもの

一七八、九一〇<sup>人</sup>

(2) クラブによるもの

三〇、五七八

(3) 農場によるもの

一七、一六五

計

二二六、六五三

家庭でなす仕事

(1) 家 庭 園

一五〇、七五八<sup>人</sup>

(2) 家庭クラブ作業

三〇、五七八

計

一八一、三三六

耕作面積

(1) 農 園

二、五八八<sup>ヘクター</sup>

(2) ク ラ ブ

不明

計

附 録



生 産 額

(3) 農 場	二、七四三
(1) 農 園	八九九、二一六 <sup>七</sup> 三六
(2) ク ラ ブ	四三三、一八三 <sup>一</sup> 一七
(3) 農 場	四六七、七三二 <sup>六</sup> 八
計	一、七九九、一二二 <sup>三</sup> 三三

一人當平均生産

(1) 農 園	五〇二
(2) クラブ作業	一四四六
(3) 農場(中等程度)	九八四〇
(4) 農場(同高等小學)	三八四三
(5) 農場(尋常小學)	九九九

二、主なる参考書

比律賓跋涉記	土屋元作	大正五年
菲律賓に於ける教育の現況	臺灣總督府	大正七年

南洋渡航須知

越村長次 大正八年

比律賓史

小森徳治 大正十年

比律賓事情

三神敬長 大正十一年

比律賓要覽

馬尼刺日本人會 大正十三年

第一回學事視察團復命書

臺灣總督官房調査課 大正十五年

Annual Report of the Director of Education, Bureau of Education, 1926, 1925

The University of the Philippines, 1926

Agricultural Clubs for Filipino Boys and Girls, Bureau of Education, 1926

The College of Agriculture, 1925

Tropical Agriculture, by Robert L. Clute. 1916



1424  
478

1. The History of the Japanese People, 1894  
2. The History of the Japanese People, 1894  
3. The History of the Japanese People, 1894  
4. The History of the Japanese People, 1894  
5. The History of the Japanese People, 1894  
6. The History of the Japanese People, 1894  
7. The History of the Japanese People, 1894  
8. The History of the Japanese People, 1894  
9. The History of the Japanese People, 1894  
10. The History of the Japanese People, 1894



終